



AIE

WISE Program
for AI Electronics

第1回 講演会のお知らせ

深層生成モデルによるメディア生成とフェイク検知

高度な深層生成モデルによるメディア生成は様々な応用が期待される一方、悪用された場合、人間には真贋判定が難しく、あたかも本物の様な映像・音声・文章、つまり「フェイクメディア」が自動で生成され、社会に混乱を及ぼす可能性がある。信頼されるAIの実現には、これらのフェイクメディアに対処する技術開発が必要である。本講演では、GPT-2により生成された口コミを検出する技術、Seq2seq+Wavenet等により生成された音声を検出する技術、Deepfakeと呼ばれる顔の偽造動画を検出する技術等を紹介する。

2021

4/21 WED

16:30 - 17:40

オンライン

講師

国立情報学研究所コンテンツ科学研究系
教授

山岸 順一 先生

略歴:

2006年東京工業大学大学院総合理工学研究科物理情報システム創造専攻博士課程短期修了。エジンバラ大学音声技術研究所を経て、2013年より国立情報学研究所コンテンツ科学研究系准教授。2019年より同研究所コンテンツ科学研究系教授。音声合成の話者適応技術に関する一連の学術論文を発表し、その枠組みを世界に先駆け確立。さらに、話者適応技術を、音声翻訳システムや音声障害者の会話補助器をパーソナライズする、技術や騒音下で音声を聞きやすくする変換技術として利用する応用研究も実施。現在は、科学技術振興機構戦略的研究推進事業日仏共同CRESTプロジェクトの代表者を務める。日本音響学会独創研究奨励賞板倉記念、情報処理学会喜安記念業績賞、文部科学大臣表彰若手科学者賞、日本学術振興会賞、ドコモ・モバイル・サイエンス賞を受賞。

アクセス



こちらのアドレスまたは左記QRよりご確認ください。
緑色で色付けされている場所になります。

<https://www.eng.tohoku.ac.jp/map/?menu=campus&area=d>

参加申込

本講演会は、どなたでも参加できます。

参加希望の方は、以下のウェブページから参加登録をお願いします。

<http://www.aie.tohoku.ac.jp>

